



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月27日

上場会社名 太平洋工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7250 URL https://www.pacific-ind.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川信也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡辺智 (TEL) 0584-93-0117
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	44,468	7.1	1,662	△50.6	3,864	△0.8	2,909	0.7
2022年3月期第1四半期	41,530	74.2	3,362	—	3,896	—	2,888	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 8,937百万円(51.9%) 2022年3月期第1四半期 5,883百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	48.18	48.08
2022年3月期第1四半期	47.72	47.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	252,950	137,275	53.9
2022年3月期	245,439	130,382	52.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 136,372百万円 2022年3月期 129,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	25.00	41.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	20.00	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	89,000	13.5	3,500	△30.3	5,300	△8.6	3,800	△13.3	63.25
通期	178,000	8.2	10,500	△2.4	13,500	△7.6	9,500	△3.1	158.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	61,312,896株	2022年3月期	61,312,896株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,234,755株	2022年3月期	732,655株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	60,383,916株	2022年3月期1Q	60,527,866株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	2
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	4
(1) 【四半期連結貸借対照表】	4
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	6
【四半期連結損益計算書】	6
【四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 【経営成績に関する説明】

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日。中国とフランスの子会社は2022年1月1日～2022年3月31日の業績を連結)における世界経済は、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、経済社会活動の正常化が進む中で持ち直しの動きがみられるものの、海外情勢等によるエネルギーや原材料価格の高騰、供給面の制約、金融資本市場の変動等により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、主要顧客の自動車生産は、コロナ感染対策や部材不足等により、一時的な稼働停止が発生いたしました。

このような中、当社グループでは、社員の感染防止に努め、人員・部材の確保等を行い、受注変動に合わせた生産活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、円安による為替換算の影響もあり、444億68百万円(前年同期比7.1%増)と同期比で過去最高となりました。利益面では、固定費削減活動を継続的に推進しましたが、生産調整に伴う販売物量の減少や、エネルギーや原材料価格の高騰等により、営業利益は16億62百万円(前年同期比50.6%減)となりました。経常利益は、円安による為替差益が大きく、38億64百万円(前年同期比0.8%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、29億9百万円(前年同期比0.7%増)と同期比で過去最高益となりました。

【セグメント別の状況】

(プレス・樹脂製品事業)

円安による為替換算の影響が大きく、当事業全体の売上高は310億34百万円(前年同期比9.5%増)となりました。利益面では、販売物量の減少により、営業利益は4億57百万円(前年同期比70.1%減)となりました。

(バルブ製品事業)

当事業全体の売上高は133億82百万円(前年同期比1.7%増)となりました。利益面では、原材料価格の高騰が大きく影響し、営業利益は11億76百万円(前年同期比36.8%減)となりました。

(その他)

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は51百万円(前年同期比35.2%増)、営業利益は14百万円(前年同期は営業損失45百万円)となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値であります。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,529億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して75億10百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は844億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億59百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が10億39百万円減少しましたが、棚卸資産が23億87百万円、受取手形及び売掛金が11億55百万円増加したことによるものであります。

固定資産は1,685億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して54億50百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が49億76百万円増加したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は459億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億53百万円の増加となりました。これは主に、未払金が16億42百万円増加したことによるものであります。

固定負債は697億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億35百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金が2億85百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、利益剰余金が13億83百万円、為替換算調整勘定が66億97百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が7億71百万円減少したことにより、前連結会計年度末から68億92百万円増加し1,372億75百万円となりました。

有利子負債は、前連結会計年度末から1億27百万円減少し、619億73百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は53.9%となり、前連結会計年度末と比較して、1.1ポイント増加しました。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症や海外情勢等によるエネルギーや原材料価格の高騰、供給面の制約、金融資本市場の変動等により厳しい状況が続くものと想定されます。

このような中、第1四半期の連結業績実績に加え、顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を修正いたしました。また、為替レート的前提は、第2四半期連結会計期間以降は1US\$=130円と置いております。

これらの仮定には不確実性が含まれているため、今後の状況等によっては、実際の業績が予想から大きく乖離する可能性があります。

2023年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想値の修正 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	90,500	4,500	5,000	3,500	57.77
今回修正予想(B)	89,000	3,500	5,300	3,800	63.25
増減額(B-A)	△1,500	△1,000	300	300	—
増減率(%)	△1.7%	△22.2%	6.0%	8.6%	—
(ご参考)前年同期実績 (2022年3月期 第2四半期累計)	78,422	5,024	5,797	4,381	72.37

2023年3月期 通期の連結業績予想値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	178,000	12,500	14,000	10,000	165.07
今回修正予想(B)	178,000	10,500	13,500	9,500	158.68
増減額(B-A)	—	△2,000	△500	△500	—
増減率(%)	—	△16.0%	△3.6%	△5.0%	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	164,472	10,756	14,615	9,803	161.86

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,014	25,975
受取手形及び売掛金	29,999	31,154
商品及び製品	7,834	9,268
仕掛品	6,209	6,714
原材料及び貯蔵品	6,429	6,879
その他	5,023	4,604
貸倒引当金	△159	△184
流動資産合計	82,351	84,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,218	31,829
機械装置及び運搬具（純額）	47,797	49,121
工具、器具及び備品（純額）	2,140	2,216
土地	10,456	10,623
リース資産（純額）	1,036	1,011
建設仮勘定	12,699	14,522
有形固定資産合計	104,348	109,325
無形固定資産		
のれん	6,751	7,026
その他	5,312	5,607
無形固定資産合計	12,063	12,633
投資その他の資産		
投資有価証券	38,473	38,132
その他	8,209	8,457
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	46,675	46,579
固定資産合計	163,087	168,538
資産合計	245,439	252,950

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,189	13,164
電子記録債務	8,095	7,945
短期借入金	1,015	1,015
1年内返済予定の長期借入金	5,986	6,144
未払金	4,387	6,029
未払法人税等	3,234	1,423
賞与引当金	1,671	964
その他	7,329	9,275
流動負債合計	44,910	45,963
固定負債		
長期借入金	55,099	54,813
役員退職慰労引当金	160	157
退職給付に係る負債	610	628
その他	14,276	14,111
固定負債合計	70,146	69,711
負債合計	115,056	115,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,316	7,316
資本剰余金	7,683	7,683
利益剰余金	87,470	88,853
自己株式	△205	△722
株主資本合計	102,265	103,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,284	17,512
為替換算調整勘定	7,602	14,299
退職給付に係る調整累計額	1,381	1,427
その他の包括利益累計額合計	27,268	33,240
新株予約権	97	97
非支配株主持分	751	805
純資産合計	130,382	137,275
負債純資産合計	245,439	252,950

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	41,530	44,468
売上原価	34,959	39,437
売上総利益	6,571	5,030
販売費及び一般管理費	3,209	3,368
営業利益	3,362	1,662
営業外収益		
受取利息	34	12
受取配当金	317	335
持分法による投資利益	315	274
為替差益	—	1,323
その他	66	347
営業外収益合計	734	2,293
営業外費用		
支払利息	120	74
為替差損	62	—
その他	16	16
営業外費用合計	199	90
経常利益	3,896	3,864
特別損失		
固定資産除売却損	71	54
特別損失合計	71	54
税金等調整前四半期純利益	3,824	3,810
法人税等	925	880
四半期純利益	2,898	2,929
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,888	2,909

【四半期連結包括利益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,898	2,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,820	△775
為替換算調整勘定	1,129	6,615
退職給付に係る調整額	△44	45
持分法適用会社に対する持分相当額	79	122
その他の包括利益合計	2,985	6,007
四半期包括利益	5,883	8,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,887	8,880
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	57

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,335	13,157	41,492	38	41,530	—	41,530
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	74	74	△74	—
計	28,335	13,157	41,492	112	41,605	△74	41,530
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,527	1,861	3,389	△45	3,343	18	3,362

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額18百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,034	13,382	44,416	51	44,468	—	44,468
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	7	7	△7	—
計	31,034	13,382	44,416	58	44,475	△7	44,468
セグメント利益	457	1,176	1,633	14	1,647	14	1,662

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等であります。

2 セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。